

研究・研修報告書

令和7年 8月 29日

小牧市議会議長 様

会派名 こまき民主市議団

代表者氏名 谷田貝 将典



研究・研修の結果を報告します。

記

1 参加議員

谷田貝 将典 小川 真由美 小沢 国大 諸岡 英実

2 日程

令和7年 8月 27日（水）～令和7年 8月 28日（木）

3 研究・研修名

第20回全国市議会議長会研究フォーラム

4 主催者

全国市議会議長会

5 会場

札幌文化芸術劇場 hitaru

6 受講の目的

地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて

7 主な内容

基調講演

パネルディスカッション

課題討議

1 日目

〔基調講演〕

主権を預かる誇りと責任

伊吹文明元衆議院議長

市長と議会は良き緊張関係を持ちながら「自分たちのことを自分たちで決める」ために地方自治体という大きな権力を動かしていくべきだ。

昔は経済規模を米の単位である石（こく）で表していたくらい、米が経済を回していた。大名が米を的確に徴収する際に、大名と農民をどう采配するか、それが庄屋の役割だった。しかし、黒船来訪が契機となり、従来の幕府のやり方では対応できなくなった。その後明治になり誕生した大日本帝国憲法は行政権について触れられておらず、内閣についての条項もなく国務大臣への言及に留まっていた。明治時代は主権が国民にはなく、万世一系の天皇陛下にすべての権限があり統治されていた。当時の都道府県知事は内務省の古参が務めていた。地方自治を監視するためである。

国民主権となったのは、戦後に現在の日本国憲法ができてからである。衆議院議員および参議院議員を国民が直接選挙で選んでいるが、そこで選ばれたものの中から選ばれる総理大臣を国民が直接選ぶことはない。これを一元代表制と呼ぶ。

憲法7条第3号に、天皇は内閣の助言と承認により衆議院を解散できるとある。具体的な例を挙げると20年前の郵政解散がある。当時の小泉純一郎首相は郵政民営化を推し進めていたが、郵便の安心安全の担保に不安があるなどとの反対意見があり、参議院で否決された。小泉首相は参議院での否決に対して、憲法7条に基づく衆議院の解散を行っている。これにより、国会議員は総理大臣に対して委縮してしまった。

小選挙区制ではリベラル派が主張をしづらく、今回の参議院議員選挙のように保守をアピールした政党が強かった。

では地方自治はどうか？

首長に不信任決議を出される→首長は解散をする→再度不信任決議を出される→……と、繰り返されるままでは混乱が続いてしまう。現在の憲法には市長と議員の優劣についても、議会に混乱が起きた場合についても明記されていないため、憲法改正をし、地方自治についてももっと定めなければならない。そして、市長と議員の立場について、二元代表制であることについてももっと考えていくべきである。

3 研修会関係

市議会議員は日本国民の主権をいただいていることを自負しなければならない。耳障りの良いことばかりではなく、時には将来のため、財源がないからと説得するのも政治家として大切だ。最近、耳障りの良いことばかり言っている政治家が増えてきていることを危惧している。

また、議員の処遇や引退後のことも考えねばならない。衆議院 OB で生活保護になった人もいる。老後の保証も考えていかねば、やり手がいなくなる。良い人材が増えなくなる。

そのためにも、地域住民から尊敬される議員にならねばならない。

〔パネルディスカッション〕

コーディネーター

辻陽 近畿大学法学部教授

パネリスト

牧原出 東京大学教授

白石洋一 読売新聞東京本社政治部次長

山下節子 山口県宇部市議会議員

長内直也 北海道札幌市議会議員

《地方議員の成り手不足問題》

牧原

地方制度改革について、国も人口動向について議論し、人口減について考えている。

新型コロナ対策からの危機的状況への対応、対策についての議論。

技術革新のための意識改革は不可欠である。

VRを使用すると3次元でやれる。まだzoomなどは二次元であり、次元を増やし情報リテラシーをあげながら、多様なリテラシーの相互関係を整理する。

白石

今回の選挙で衆議院が少数与党となった。

全国記者として東京からウォッチし地方自治を考えている。

成り手不足、投票率。

有権者の意識を探る。

山下

議会の政策提言能力をあげることが大事。

令和5年地方自治法の一部改正は、議員に役割を強く持たせるため。

資質と見識のある人物の参画促進。

現役世代が立候補しやすい環境づくり。

議員の仕事の魅力を市民に伝える。

議員の厚生年金の加入。

若者が兼業ではなく本業で営めるような環境づくり。

議員報酬の見直し。

議会、議員活動の情報発信強化などを委員会でやる。

主権者教育では、高校生議会や小学生によるこども選挙。議員が三人立候補し、こどもが投票。そのために、広報もつくり、こどもに考えてもらう。

長内

地元で育ち、北海道大学で電池の研究などを経て、金融機関で働いていた当時、北海道拓殖銀行の経営が厳しいと聞いた。ところが東京では情報がなく、なんとかせねばと地元に戻り、市議会に出馬した。今7期目で議長をしている。

主権者教育として、小中学生の議場見学を行っている。議員のなり手不足対策にもなるのではないかと考えている。

教育委員会を通じて、夏休みの自由研究として議場見学を提案した。チラシはデータで送付し、先生の負担軽減。

札幌市議会キッズページを開設した。市議会クイズなど公開。

市議会こども教室を開催。

子どもまちづくり体験塾を開催。夏休み期間中、議会テレビ局を視察。

議会の役割を伝え、興味をもってもらった。

《地方議員の現状》

男性議員8割、女性議員2割。

専門化できない前提で、どう目指すかが大切。

育児と介護の両立、公費負担、報酬改正、休暇の取得の充実が必要。

報酬が壁となり、有能な人材が来ないため適切な金額設定が必要。

年金制度改革が必要。

SNS をやる必要があるが、炎上が怖い。かと言って、通り一辺倒では、閲覧してもらえず、どううまく付き合っていくかが今後の課題。また、虚偽、ファクト情報も溢れている。

2 日目

〔課題討議〕

「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」

コーディネーター

牧瀬稔 関東学院大学法学部教授

事例報告

今井康善 長野県岡谷市議会前議長

平神純子 鹿児島県南さつま市議会議員

中野進 石川県白山市議会議長

笠置町議会選挙にて出馬が少なく、定数 8 人中家族 5 人が立候補し全員当選するレアケースもおきた。

・必然的なり手不足理由

収入が少ない、当選しにくい、福利厚生なし、原則諸手当なし、昇給なし、退職金なし

2011 年から、なり手不足が顕著。

今井

議員のなり手不足と戦う岡谷市議会

平均 60.9 歳、80 歳以上もいる。

令和 5 年全国 21 自治体で定員割れが起こった。市は岡谷市のみ。

→対策

議会情報オープン化

SNS の活用をはじめ、プレスリリースで宣伝。マニフェストスウィッチで各議員が公表。

子育て支援、シニア、中学生との交流。

議場コンサート開催、サイボウズ（グループウェア）、タブレット導入。

岡谷市に議会は必要か？！のお題でシンポジウムも開催、200人以上集まり、北川元三重県知事などを講師で招いた。

平神

鹿児島県内に女性議員を100人にする会を作った。行政キャラバンをつくり回った。96市町村があり、一町1人女性を出せば良いと思ったが中々難しかった。男尊女卑が強く、男女平等順位は全国46位

6回出馬し、4回落選したがやり抜いた。

女性議員がいる全国マップを作成した。

中野

平均年齢 60 歳

告示 2 週間前で、定数より 2 人少なく出馬。全員当選。

20-30 代は無し。60-70 歳が主流。

未来へつなぐ議員の在り方検討委員会を設置。

やんごとなき欠席を具体的にし、産前産後は 8 週間にするなどした。

本会議もオンラインで出席できるようになり、長期病欠は減給するなど復帰しやすくした。

白山市の未来へつなぐシンポジウムを開催。コロナ禍で、468 名集まった。講師に東国原氏を呼び、パネリストとディスカッションした。その結果、アンケートにて、「市議会への関心が高まった」と回答した者が半数以上。

市民との意見交換会を開催した。以前の高齢者や同じ方参加のものとは違い、それぞれ若い世代の方、女性の団体に声をかけたことで、参加者が若返った。

8 所感・提言・課題等

小牧市はまだ議員のなり手は多いくらいの立候補ではあるが、将来の課題、また議員の仕事の魅力発信を続け、女性や若い方々が立候補しやすい取り組みを今後、研修した内容を参考に精進していきたい。